

宮古から土曜日に戻りましたのでご報告します。

日本キリスト教団宮古教会の好意で設置された盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンターは、池田勝一所長、大塚英彦横浜 YMCA 主事の手際良い采配で、「頼まれたら断らない」をモットーに、今回は他に 3、4 名のボランティアが纏まり良く、浸水家屋の床はがし、壁清掃、室内片付け清掃、家具修理、最近やっと出来た仮設住宅への社協からの支援物資配り、お墓の清掃、廃材処理などしました。海水がしみこんだ住宅の片付けは大変ですが、訪れたお宅ではお話を聞くなども大切な仕事となります。町中はある程度片付いていますが、至る所に爪痕が残っていて心が痛みます。郊外も深い入り江の奥の惨状は目を覆うばかりです。仕事は次々と舞い込みますが、所長がうまくアレンジして進んでいきます。高齢者の必要とする日常支援もあり、人手はいくらあっても足りません。センター収容人数の制限や、心構えについて注意が必要とのこと。

金曜日、物資配りをしたあと、「重茂地区交流センター」で、宮古ボランティアセンター得意の焼きそばたこ焼きサービスをしました。近隣に声かけが効き 300 人以上集まり、焼きそば 390 人前、たこ焼き 450 人前以上、長い行列ができ、中には 3 時間以上並んだという方もおられ、珍しさと喜びに我慢しておられるので我々一同圧倒されました。これまでで最高の人出だそうです。一回 3 万円ほどの食材代をワイズでスポンサーしてほしいとの要望がありました。72 個分のたこ焼き器は教会の備品ですが、あまりの人気にあと一台必要かとも思われます。

食事は教会のボランティアの山根さんという方たちが、毎食分を調理してくれふんだんに賄ってくれます。近隣での購買に力を入れるほか、差し入れもあり潤沢です。夕方に銭湯から帰り、食事して打ち合わせて礼拝堂のあちこちに敷いた寝床で休み、高いびき。

毎朝 6 時に池田所長の薦めでペタンクをして癒す活動に一人の方が参加され、私たちも 4 日間ご一緒しました。

鎌倉ワイズに理解協力してくれる極楽寺の河野通良さんが同道してくださいました。私の犬ティナも邪魔にされず結構愛嬌を振りまいて喜ばれました。

片道 700 キロで、11 時間強交代でドライブ、高速代ガソリン往復 3 万 6 千円でした。週末には首都圏から 4 回目の方々とか、盛岡の専門学校生とかが参加してくれ賑やかになりましたが、徐々に減ってきているので、これからボランティアも頑張っていかなければなりません。「息の長い活動を」と、皆さんのご協力が期待されていますので、ぜひお声をかけて頂きたいと思います。

湘南・沖縄部地域事業主査

池田 光司（鎌倉クラブ）